



淡水～汽水域で5cm以下の幼魚が見られるが、成魚は海水域に移動する。北潟湖産 全長：約10cm

シマイサキ科 シマイサキ属 【全長】30cm

シマイサキ

学名：*Rhynchopelates oxyrhynchus*

分布域 本州・四国・九州に分布する。

生息域 沿岸部の浅い所～河口部・汽水湖などの汽水域に生息する。



夏～秋に汽水域に稚魚が多い。北潟湖産

吻がやや尖り口は吻端にある。頭部の背面側は直線的。体色は青味を帯びた銀灰色で、直線的な黒い縦条が吻から尾鰭の基底までほぼ平行に走る。沿岸部の岸近くを群で生息する。食性は動物食性で甲殻類・底生動物などを食べる。産卵期は夏。内湾や河口部で産卵するとされる疑問が残る。浮き袋を収縮させグウグウといった音を発する。肉質はよく夏期は高級魚として扱われ、洗いや塩焼きとして食される。

水槽での飼育は可能。幼魚は真水～海水まで適応し成長するに従い海水比を高めてやる。餌は甲殻類や冷凍赤虫・配合飼料を食べる。気性は比較的荒い。低水温には比較的弱く、注意が必要。

在来種

周縁魚

※ 夏～秋に北潟湖の淡水～汽水域で全長1～5cmの幼魚が比較的多く見られる。だが、それ以上大きなものは一年を通して見ない。沿岸部で産卵・孵化し幼魚は汽水域に侵入するのか？